

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年2月17日

事業所名: さくらんぼ 星の家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適正であるか	○		園庭やウッドデッキ、近くの海や公園など、様々な場所を使って支援を実施している。	
	②	職員の配置数は適正であるか	○		人員配置は手厚く、個別が必要な子に対しては個別で支援が行えている。	職員による勉強会を実施して、サービスの質の向上に努めている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		完全なバリアフリー化はできていないが、車椅子でも移動や排泄は行えるようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と割り振り)に、広く職員が参画しているか	○		業務の中心となる職員に関わらず全職員で会議を行い、計画、実施、評価、改善を柔軟で迅速に行えるようにしている。	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果を保護者に配布している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		講師の方からの助言等は受けているが、外部評価機関に依頼はしていない。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		今年度は施設内での研修を強化した	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		チームに分け、行事計画やアセスメントを行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたアセスメントツールは使用していないが、事業所独自の書式でアセスメントしている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		チームを形成して行っている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		毎月の行事計画をチームに分けて計画している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		基本は平日に対しての課題だが、長時間の時には、食事等を平日では行わないことを注意している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子どもの特性や環境・状況の変化に応じて、柔軟に個別活動と集団活動を組み合わせた計画を適宜行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援前にはミーティングが行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		送迎に出ていない職員で振り返りを行い、会議録に記載している。	
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別支援計画をもとに、評価して記載している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		2か月に1度のモニタリング。必要な際には支援計画を変更する。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインをもとに職員研修を行っている	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		各ご利用者様ごとにチーム担当をつけ、児発音と相談しつつ、カンファレンスに参加している	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		各学校の下校時間表を貼りだしている。トラブル等が起きた際に電話等で柔軟に対応。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		看護師が医師の指示のもと、医療的ケアを行っている。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		同地域になる、認定こども園とは、定期的に情報共有ができていた 今年度は回数が減少した	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		ご利用されてきた方は、保護者の了解を得てフェイスシート・アセスメントシートを送らせてもらっている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		支援センターとの繋がりは薄い、講師の方に来てもらい、助言や研修を受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		他の施設との交流は少ないが、地域の子達が遊びに来れる様になっている。また、事業所から積極的に地域に出ている	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			福山市の放課後等デイサービス連絡協議会には参加している。同時に懇親会や行事には職員も数名で積極的に参加するように努めている。	今年度は参加していない
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時等で、一日のことをお伝えするように努めている。 また、連絡帳を活用して1日の活動や、保護者からの相談を受け付けている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		○		相談があった利用者様には助言などは行っているが、家族支援プログラム等を行っていない。 今後、研修を行い、家族支援が行えるように努める。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		昨年度からの取り組みで、ハンドマッサーの資格を取得した職員による、ハンドマッサー相談支援を無償で行っている。	今年度は感染防止の観点から電話での対応が多かった
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催す等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者の方に、家族会の計画を立てていただき、2か月に1度の家族会を開催していたが、感染予防の為、今年度も中止した。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当窓口を設置して、陣策に対応している。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		3か月に1度、活動内容などの会報を発行している。	
	㉕	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		PCのセキュリティに関しては、専門業者に委託して実施している。また、家庭への連絡は専用の電話を使って行っている。	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		毎日ミーティングを行い、ご利用児や保護者の意思や情報を共有している	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度も感染予防の観点から実施できていない

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルは作成し、職員への周知は行っている。しかし、緊急時や防犯マニュアルの対応については、保護者の方に周知できていないが、直接的な関係が深いと思われる感染症対応については、保護者と共有できている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的な訓練を実施している。また、職員研修で災害時の対応を会社全体で会議が行えた	
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回、代表者1名に外部の権利擁護の研修に参加してもらい、その研修をもとに職員研修を行っている	
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㉔	植物アレルギーがある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギーは保護者からの申告でしか把握が行えていない。その為、今後は看護師を中心とした再確認を行っている。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		これまでのヒヤリハットを参考にしつつ、所内で意識の共有を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果」は「保護者等からの事業所評価」を参考にさせていただき、事業所全体で行った自己評価です。